

新社長登場

New President



紅忠スチール

柳井直樹氏

「紅忠スチールの機能を明確にし、確立させ、向上させていきたい」と話す。自動車用鋼材自販、

エーン全体でのサービスの付加価値を上げてい

話を深めて一からヒアリングし、対話していく」

▽柳井直樹（やない・なおき）氏（1991年

米州支配人付（在ナッシュビル）。ミシガン大エグゼクティブプログラム修了。22年東京で自動車鋼材本部自動車鋼材第一部

社員の機能向上を目指す

業務受託と薄板建材を中核とした建設用鋼材の事業における機能を確立させていく考えだ。「自動車分野では一次、二次、三次の部品メーカーへのサービス体制を深化させていく」とし、業務委託では、カスタマーサービス機能を向上させ、自動車のサプライチ

く。薄板建材では、細かいサービスによりお客さまのニーズを把握し、応えていくと同時に、日本だけではなく、海外に関する活動にも貢献していく方針だ。「現状のままではどこぞ、危機」と、トランスフォーメーションに取り組み、「お客さまと会

性を重視した施策を進め、ジョブ型へ切り替え、研修制度を見直すことで、個々の社員の機能向上・確立を目指す。自身も業務の傍ら、母校のビジネススクールに通い、これまでの経験だけに頼ることなく、新たに流通政策・営業政策・経営全般などを学び直しなが

ら、日々の業務に生かすよう心掛けていた。大学時代はアメリカンフットボール部で汗を流し、その時の恩師である野崎和夫監督が愛用していたラレーズ「好きこそものの上手なれ」を常に念頭に置いている。取引先、同僚、会社が好きになれば、自分の仕事も好きになる」と、新体制のもと一つのチームとして時代の変化に対応する。

（山本 章央）

と根本から市場を見つめ直し、業務の領域拡大、品質向上を実現する。そのためにかかせないのが人材。社員育成では多様

99年米国に赴任。2006年に帰国後、国内外の自動車鋼板・特殊鋼製品全般を担当。16年再び渡米し、MISI米国会社シカゴ支店長、同ディビジョン2プレジデント兼

長代行兼次世代モビリティ対策室長、IMDのAMP修了、24年紅忠スチール社長。67年9月14日生まれ。